

シリーズ 景観54

こっ き 国暉酒造

『みんなで残したい松江の景観400選集』から
景観審議会が特にお薦めする景観

No. 230

「国暉酒造の伝統を感じさせる落ち着いた佇まいが好好きです」と推薦いただきました。

国暉酒造は東茶町にあり、江戸時代には町家が軒を連ねる中心街でした。1808(文化5)年の大火後に建てられたもので、格子戸が印象的で江戸時代末期の町家の面影が色濃く残っています。仕込蔵

は松江藩主松平家の土蔵を譲り受けて移築改造したもので、宍道湖大橋から見ると白壁の蔵や赤い煙突が目を引きます。

近隣の町並みの特徴の一つに小路があります。国暉酒造の東には、昔からの小路の一つで豪商京屋にちなんで名付けられた京屋小路や、平成8年にできた新しい小路で京橋川沿いにあった染物屋にちなんで名付けられた紺屋小路があります。

春の足音が近づくなか、江戸時代からの歴史や町人文化を感じさせる町家や小路が残る町並みをゆっくり散策されてみてはいかがでしょうか。



「みんなで残したい松江の景観400選集」は、市ホームページでご覧いただけます。

【問い合わせ】まちづくり文化財課 ☎55-5387

松江の景観400選

検索